

## 12~13ニューモデルスキーの説明

小賀坂スキーは『思いのままに、滑れてこそ、滑る本当の楽しさが生まれる』というスキースポーツの本質をしっかりと認識し、確固たる製作理念に基づき、本物のスキーを作り続けて創業100周年を迎えました。お客様の様々な目的、用途を満足させるべく、アイテムごとに特色のあるスキーを提案いたします。全てのスキーに共通する操作性の良さに加えて、アイテムごとにお客様の求める性能や楽しさを徹底的に研究し、幾度もテストを重ね、お客様の満足を実現する為に、全機種にF.L.Fを採用し、TECHNICAL.ATHLETEシリーズには、Beamsystem.FLS.AC.Neo Flex Edgeを用途、目的に応じて採用しております。また13アイテムにはFFS(FRONT FLOAT SYSTEM)を搭載いたしました。主な機能の実走感覚は、以下の通りです。

### Beamsystem

- (1) スキー全体での的確なグリップ力と、スムーズな推進力を感じます。
- (2) 非常になめらかに感じ、様々な方向にスキーを動かしやすく感じる。
- (3) 形状変更のBeamsystem (図2参照) は、グリップ力と推進力が向上しています。

### FLS

- (1) 雪面からの細かい振動を軽減してくれる。
- (2) 安定性を持っていながら、しっとりとしたなめらかさがある。

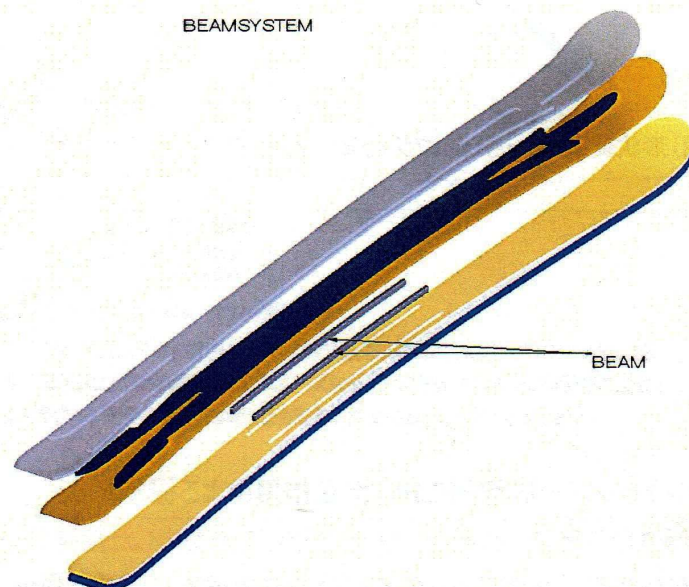


図1(KS-AX、KS-FX、KS-TKに採用) Beamsystem+FLS

## BEAMSYSTEM

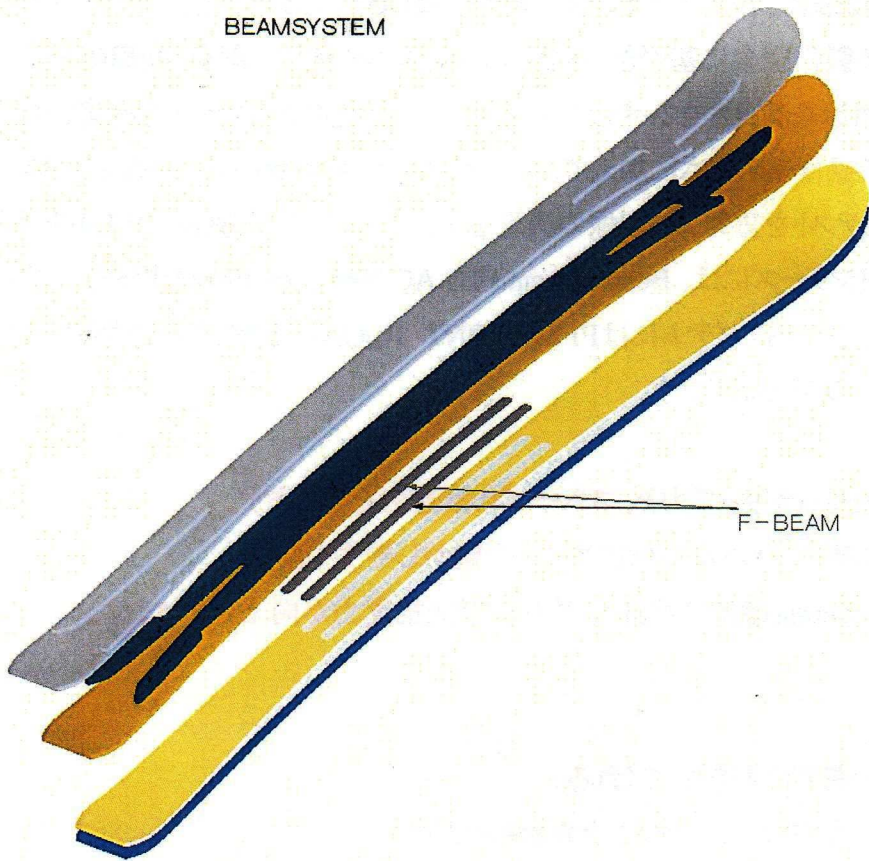


図2(TC-LV、TC-SVに採用)形状変更Beamsystem(フラットビーム)+FLS

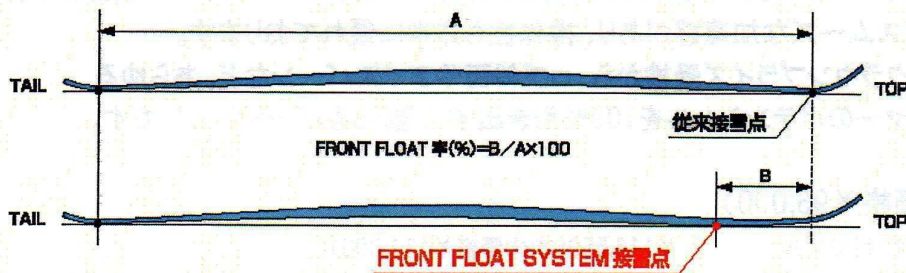
### FRONT FLOAT SYSTEM(フロントロッカー形状とFLFの相互作用による機能)

- (1) 圧雪バーンだけでなく、雪だまりや不整地、新雪等、様々な状況下で安定した性能が発揮できる。
- (2) ターン始動時の急激な捉えがなく、スムーズにターンに入ることが出来る。
- (3) ターン後半の切れ上がりすぎが少なく、抵抗が分散する為、ターンスピードと推進力を感じる。

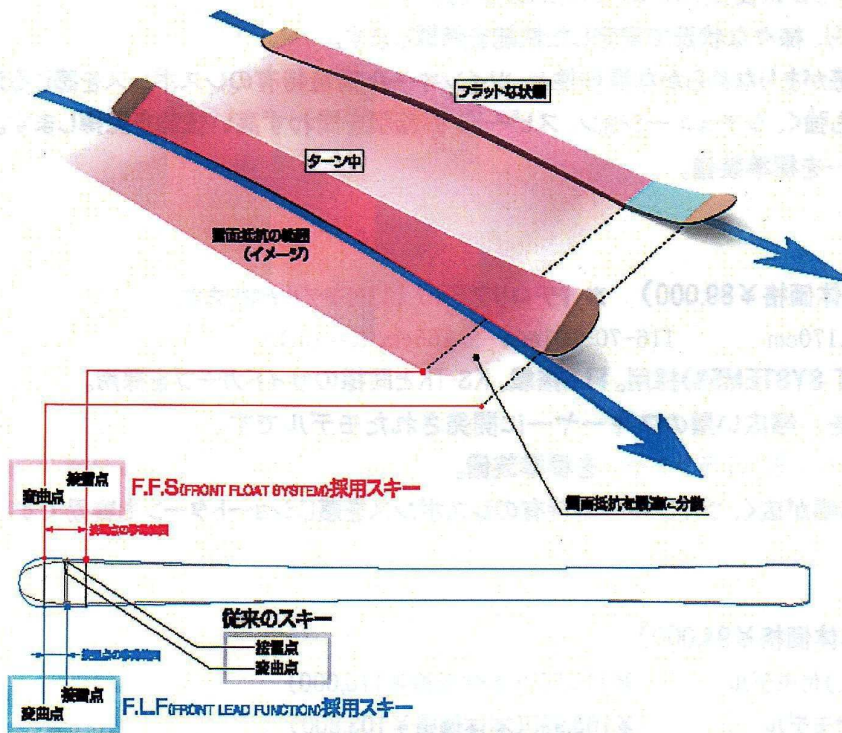
という感想が多く聞かれました。



# F.F.S FRONT FLOAT SYSTEM (F.F.S)



トップ側の接雪点を従来より数%ブーツセンター寄りに設定することにより、ターン中にトップ部が受ける雪面抵抗を最適に分散することができます。また、振動吸収にも優れた効果を発揮します。



「FRONT FLOAT SYSTEM」は「FRONT LEAD FUNCTION」と相互に作用し、雪質や斜面状況にとらわれることなく、スムーズなターンが可能です。ターン始動時の急激な捉えやターン後半の不必要な切れ上がりを防ぎ、安定した走りを生み出します。

物の本質が問われている時代。『小賀坂を使って良かった、次も小賀坂にしよう。』と言っただけの商品を提案しております。皆様の厳しい目で吟味してください。